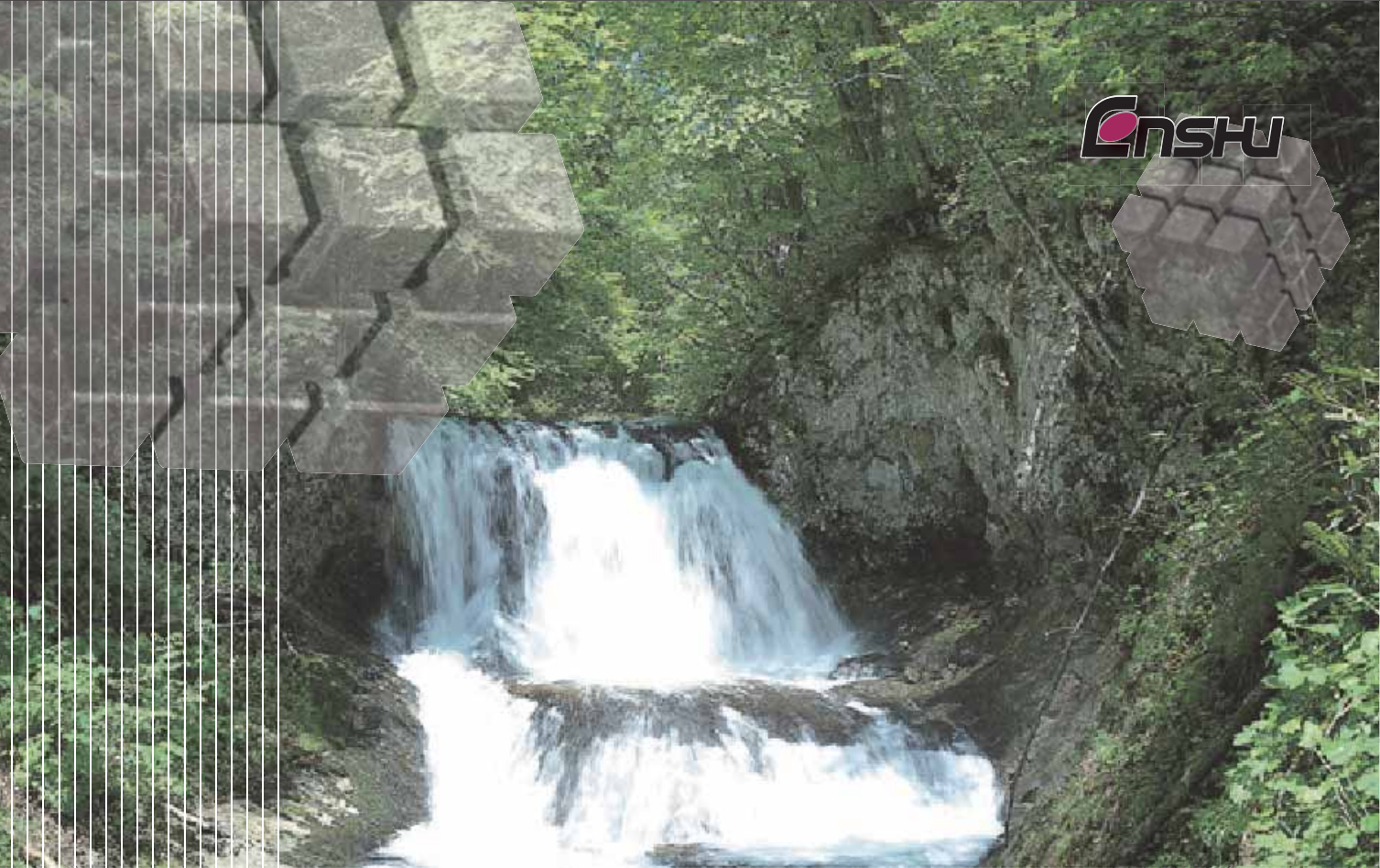




株主のみなさまへ

第142期 報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

エンシュウ株式会社

CONTENTS

目次

株主のみなさまへ	1
事業の概況	3
エンシュウのグローバルネットワーク	5
トピックス	6
売上及び受注の状況	8
業績の推移	8
連結財務諸表	9
個別財務諸表	11
株式の状況	13
会社の概況	14

TOP MESSAGE 株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、当連結会計年度におけるわが国経済は、外需や景気対策などにより一部では回復の兆しが見られるものの、雇用情勢、個人消費の改善、設備投資需要の回復には未だ至っておらず、依然として厳しい状況が続いております。

このような情勢の中で当社グループは、中国等アジア新興国を中心とした海外への積極的な販売活動の展開を図ると共に原価低減や徹底した経費削減、更には合理化等による固定費削減に努めてまいりました。

しかしながら、依然として経営環境は厳しく、売上高は工作機械関連事業部門および輸送機器他関連事業部門ともに大幅に減少し、連結売上高は14,736百万円（前期比64.5%減）となりました。

また、損益につきましても、原価低減や固定費削減等に努めてまいりましたが、営業損失は2,783百万円（前期は営業利益311百万円）、経常損失は2,608百万円（前期は経常損失165百万円）となりました。当期純損失は、減損損失、異常操業度損失等の特別損失を計上したことにより4,735百万円（前期は当期純損失636百万円）となりました。



本社及び工場



浜北工場

当社グループを取り巻く経営環境は、中国を中心にアジア地域での景気の回復基調は続くものの、日本や欧米など先進国の景気回復の足取りは重く、しばらくは厳しい状況が続くものと思われます。このような状況のもと、中国を中心としたアジア地域での市場開拓を積極的に推進し、拡販に努めるとともに「生き残りをかけた構造改革を実行し、成長に向けステップアップを目指す」ことを基本方針として、生産コストの削減およびあらゆる経費の削減を図り、徹底した経営効率の改善・改革に取り組んでまいります。

また、内部統制につきましては、リスク・コンプライアンス管理等の統制強化を推進してまいります。

当社グループといたしましては、厳しい経営環境の中、安定した経営基盤の確立に向け全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、第142期の配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、財務状態が十分ではなく、その実施を見送らせていただくことといたしました。

平成 22 年 6 月

代表取締役社長

中安茂夫



REVIEW OF OPERATIONS

事業の概況

平成21年4月1日から平成22年3月31日に至る当社グループ第142期連結会計年度の事業の概況をご報告申し上げます。

工作機械関連事業部門

当連結会計年度における工作機械業界(日工会)の受注総額は5,471億円となり2年連続して前年度を下回りました。内需は1,890億円(前期比54.1%減)で4年連続の減少となり、また、外需は3,581億円(前期比35.8%減)となり2年連続の減少となりました。

そのような中で工作機械事業では、中国等のアジア新興国を中心に海外販売活動を展開し拡販に努めてまいりましたが、市場の縮小に伴い売上高は大幅に減少いたしました。生産につきましては、内製化による付加価値の取り込み、工場の再編成による生産性の向上に努めてまいりました。

また、光関連事業につきましては、省エネ効果が評価された高出力半導体レーザー加工機において環境改善をキーワードに溶接品質の向上や焼入れ技術などの工法改善の営業活動を展開してまいりました。その結果、多くの工法の共同開発や試作品加工の用途開発にも取り組んでまいりましたが、景気後退による設備投資抑制に歯止めがかからず、受注高、売上高ともに前年を下回り、採算的には引き続き厳しい状況となっております。

以上の結果、工作機械関連事業部門の売上高は6,663百万円(前期比70.1%減)、営業損失は2,350百万円(前期は営業損失32百万円)となりました。

今後も受注環境は厳しい状況が続くと思われますが、中国等のアジア新興国の自動車需要に後押しされる形で需要の拡大が期待されています。主要顧客であります自動車関連産業から非自動車産業分野にも積極的に展開し、中国等のアジア地域を中心に海外での販売・サービス網を整備・強化し拡販を図ってまいります。



▲ 高出力半導体レーザーによる精密低ひずみ焼入

また、顧客からの厳しい価格要求に応えるため、技術、製造部門では、顧客ニーズにマッチしたマシニングセンタの製品開発およびシステム商品対応の機械づくりを推進し、低コストの製品づくりを推進してまいります。また、グローバル調達を推進し原価低減に努めるとともに、現在タイにて海外生産しております製造子会社に続き、中国へ新たに製造子会社を設立し、海外現地生産を拡大して低価格機械の市場投入を図り、競争力の向上に取り組んでまいります。

平成22年4月に組織した新事業推進本部の光関連部門では、引き続き新素材対応や、バッテリー等の環境をキーワードにした営業活動を推進すると共に、小型軽量高パワー密度の新型半導体レーザーを市場投入し販売拡大を目指してまいります。また、新規事業準備室では、航空機産業分野への参入を目指した取り組みをしてまいります。

輸送機器他関連事業部門

当連結会計年度におきましては、自動車部品等の新規取入れに注力してまいりましたが、主力製品であります二輪車用エンジン部品およびバギー車用エンジン部品、更にはディーゼルエンジン部門の生産が大幅に減少したことにより、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、輸送機器他関連事業部門の売上高は8,072百万円(前期比58.2%減)、営業損失は433百万円(前期は営業利益372百万円)となりました。

今後につきましては、景気動向等による不透明さも残りますが、二輪車用エンジン部品およびバギー車用エンジン部品の仕事量は、緩やかに回復基調に推移していくものの、しばらくは厳しい状況が続くものと思われます。引き続き、自動車関連の新規製品の取入れを図ると共に、昨年立ち上げました「生産革新室」にて生産性向上を柱とするプロジェクトを中心に、ものづくり改革を推進し徹底した原価低減に努め収益体質強化を図ってまいります。

また、品質向上に向けての体制強化、技術力の向上にも取り組んでまいります。



▲シリンダーヘッドライン

エンシュウのグローバルネットワーク

GLOBAL NET WORK

工作機械の事業におきまして、海外での製造・販売・サービス網を整備し、拡販しております。



ENSHU GmbH

ENSHU Limited Beijing Office



ENSHU (USA) CORPORATION



ENSHU Limited
Wuxi Representative Office

BANGKOK
ENSHU MACHINERY Co.,Ltd



ENSHU (Thailand) Limited



PT. ENSHU INDONESIA



中国に製造会社設立予定(2010年7月)

中国国際工作機械展示会(CIMT2009)



好調が続く中国市場へのPRとして、2009年4月6日～11日まで北京で開催されたCIMT2009(中国国際工作機械展示会)に出展しました。28カ国1200社が出展する世界の四大工作機械見本市と呼ばれるこの展示会に、エンシュウは最新鋭の大型横マシニングセンタ『GE90H』と小型で高効率な立形マシニングセンタ『EV360』を出展し、多くの商談を頂きました。

国際ウェルディングショー2010

世界三大ウェルディングショーであり、日本唯一の溶接専門展である『国際ウェルディングショー』が4月21日から24日まで、東京ビッグサイトにて開催されました。

当社は、高出力直接集光型半導体レーザーを搭載した小型溶接システム『LJ』に、特徴である長方形のビームスポットをより使いやすくするために、当社が新たに取り組んでおりますビーム回転光学系の集光装置を搭載し樹脂と金属の接合実演を行いました。従来は接着剤を使用しなければ不可能だった組み合わせが、素材同士で接合できるということで多くのお客様にご来場いただきました。

また、半導体レーザーを使用した溶接・接合サンプルとして「高品位の溶接」「異種金属の接合」「樹脂溶着」、その他の応用技術として「レーザー焼入れ」のサンプル展示を行いました。いずれも、多くの問い合わせをいただいております。今後の商談に向けて意義のある展示を行うことができました。



TOPICS トピックス

新機種2機種を発表

今期、新たに2機種の新機種を発表しました。

高効率小型・立形マシニングセンタ『EV360T』と高剛性・立形マシニングセンタ『EV450T』で、いずれもハードディスクなどのパソコン部品や小型の自動車部品等の加工に最適の機械です。価格競争力を発揮する為に、弊社のタイ工場であるBANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd社で生産をします。EV360Tは既に東南アジアを始め各国への販売を開始、EV450Tは今秋からの販売を予定しています。



▲ 高効率小型・立形マシニングセンタ EV360T



▲ 高剛性・立形マシニングセンタ EV450T

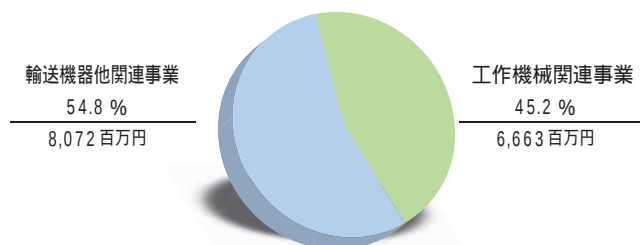
REPORT

連結 売上及び受注の状況

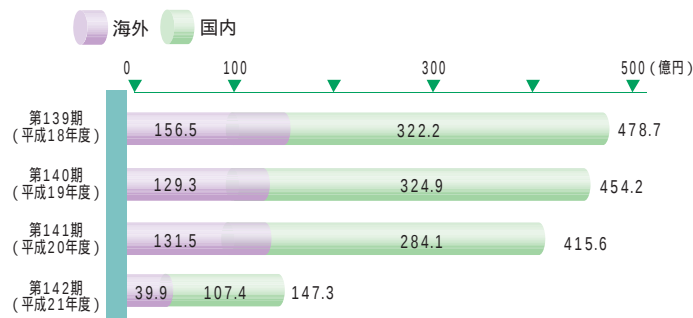
連結 第139期～第142期 業績の推移

売上高

14,736 百万円 (うち海外 3,995 百万円)

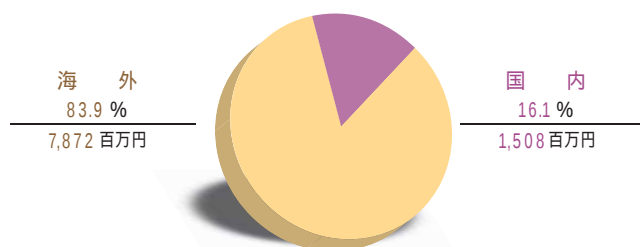


売上高

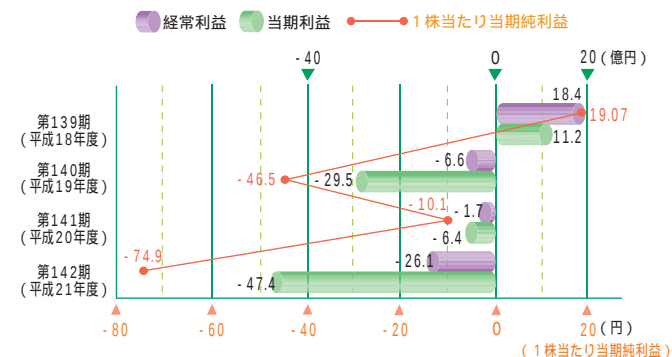


工作機械関連事業の受注高

9,380 百万円



利益

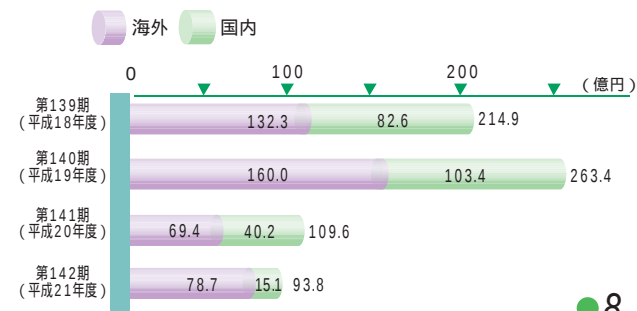


工作機械関連事業の受注残高

8,249 百万円



工作機械関連事業の受注高



CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

連結貸借対照表（平成22年3月31日現在）

（単位 百万円）

項 目	金 額	項 目	金 額
● 資産の部 ●		● 負債の部 ●	
流 動 資 産	11,711	流 動 負 債	10,064
現金及び預金	2,224	支払手形及び買掛金	3,240
受取手形及び売掛金	2,816	短期借入金	5,748
商品及び製品	2,131	リース債務	17
仕 掛 品	2,598	未払法人税等	19
原材料及び貯蔵品	624	賞与引当金	105
繰延税金資産	49	その他の	933
信託受益権	834	固 定 負 債	11,483
その他の	557	長期借入金	6,972
貸倒引当金	125	リース債務	41
固 定 資 産	13,477	再評価に係る繰延税金負債	2,076
有 形 固 定 資 産	13,167	退職給付引当金	1,823
建物及び構築物	2,236	役員退職慰労引当金	99
機械装置及び運搬具	3,327	環境対策引当金	204
土 地	7,387	その他の	267
リース資産	35	負 債 合 計	21,547
建設仮勘定	23	● 純資産の部 ●	
その他の	156	株 主 資 本	613
無 形 固 定 資 産	62	資 本 金	4,640
リース資産	22	資本剰余金	1,230
その他の	39	利益剰余金	5,206
投資その他の資産	247	自己株式	51
投資有価証券	173	評 価・換 算 差 額 等	3,027
その他の	272	その他有価証券評価差額金	2
貸倒引当金	197	土地再評価差額金	3,153
資 産 合 計	25,188	為替換算調整勘定	128
		純 資 産 合 計	3,641
		負債及び純資産合計	25,188

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要旨）

自 平成 21 年 4 月 1 日
至 平成 22 年 3 月 31 日
(単位 百万円)

項 目		金 額
売 上 高		14,736
売 上 原 価		15,475
売 上 総 損 失		739
販売費及び一般管理費		2,044
営 業 損 失		2,783
営 業 外 収 益		503
営 業 外 費 用		327
経 常 損 失		2,608
特 別 利 益		3
特 別 損 失		2,206
税金等調整前当期純損失		4,811
法人税、住民税及び事業税	17	
法 人 税 等 調 整 額	57	75
少 数 株 主 利 益		0
当 期 純 損 失		4,735

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

自 平成 21 年 4 月 1 日
至 平成 22 年 3 月 31 日
(単位 百万円)

項 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,293
投資活動によるキャッシュ・フロー	405
財務活動によるキャッシュ・フロー	491
現金及び現金同等物に係る換算差額	1
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	393
現金及び現金同等物の期首残高	1,830
現金及び現金同等物の期末残高	2,224

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

自 平成 21 年 4 月 1 日
至 平成 22 年 3 月 31 日
(単位 百万円)

残高及び変動事由	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前 期 末 残 高	4,640	1,230	521	45	5,303
当 期 変 動 額					
当 期 純 損 失			4,735		4,735
自己株式の取得				5	5
土地再評価差額金取崩額			51		51
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					-
当 期 変 動 額 合 計	-	-	4,684	5	4,689
当 期 末 残 高	4,640	1,230	5,206	51	613

残高及び変動事由	評価・換算差額等					少数株主 持 分	純資産 合 計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	土地再評価 差 額 金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
前 期 末 残 高	26	1	3,204	156	3,020	33	8,357
当 期 変 動 額							
当 期 純 損 失							4,735
自己株式の取得							5
土地再評価差額金取崩額							51
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	28	1	51	28	7	33	26
当 期 変 動 額 合 計	28	1	51	28	7	33	4,716
当 期 末 残 高	2	-	3,153	128	3,027	-	3,641

NON-CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

個別財務諸表

個別貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位 百万円)

項 目	金 額
● 資産の部 ●	
流 動 資 産	11,347
現金及び預金	1,811
受取手形金	307
売掛金	3,549
商品及び製品	1,157
仕掛品	2,557
原材料及び貯蔵品	559
未収入金	374
信託受益権	834
関係会社短期貸付金	93
その他の	102
貸倒引当金	1
固 定 資 産	13,936
有形固定資産	13,121
建物	2,113
構築物	122
機械及び装置	3,311
車両運搬具	5
工具、器具及び備品	137
土地	7,387
リース資産	20
建設仮勘定	23
無形固定資産	58
ソフトウェア	20
リース資産	22
施設利用権	10
電話加入権	5
投資その他の資産	755
投資有価証券	113
関係会社株式	402
関係会社出資金	191
従業員に対する長期貸付金	25
破産更生債権等	88
長期前払費用	2
その他	22
貸倒引当金	91
資 産 合 計	25,284

項 目	金 額
● 負債の部 ●	
流 動 負 債	9,822
支払手形金	673
買掛金	2,350
短期借入金	5,748
リース債務	11
未払金	582
未払費用	42
未払法人税等	17
未払消費税等	68
前受金	115
預り金	21
賞与引当金	105
設備関係支払手形	66
その他	20
固 定 負 債	11,457
長期借入金	6,972
リース債務	35
再評価に係る繰延税金負債	2,076
退職給付引当金	1,823
役員退職慰労引当金	99
環境対策引当金	204
長期預り保証金	244
その他	3
負 債 合 計	21,280
● 純資産の部 ●	
株 主 資 本	847
資本金	4,640
資本剰余金	1,230
資本準備金	1,230
利益剰余金	△4,972
その他利益剰余金	4,972
繰越利益剰余金	4,972
自己株式	△51
評 価・換 算 差 額 等	3,156
その他有価証券評価差額金	2
土地再評価差額金	3,153
純 資 産 合 計	4,003
負債及び純資産合計	25,284

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別損益計算書（要旨）

自平成21年4月1日
至平成22年3月31日
(単位 百万円)

項 目		金 額
売 上 高		13,762
売 上 原 価		14,611
売 上 総 損 失		848
販売費及び一般管理費		1,614
営 業 損 失		2,463
営 業 外 収 益		467
営 業 外 費 用		364
経 常 損 失		2,360
特 別 利 益		0
特 別 損 失		2,098
税 引 前 当 期 純 損 失		4,458
法人税、住民税及び事業税	11	
法 人 税 等 調 整 額	33	22
当 期 純 損 失		4,436

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別株主資本等変動計算書

自平成21年4月1日
至平成22年3月31日
(単位 百万円)

残高及び変動事由	株 主 資 本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資 本 準備金	資本剰余金 合 計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合 計		
前 期 末 残 高	4,640	1,230	1,230	587	587	45	5,237
当 期 変 動 額							
当 期 純 損 失				4,436	4,436		4,436
自己株式の取得						5	5
土地再評価差額金取崩額				51	51		51
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）							
当 期 変 動 額 合 計	-	-	-	4,385	4,385	5	4,390
当 期 末 残 高	4,640	1,230	1,230	4,972	4,972	51	847

残高及び変動事由	評価・換算差額等				純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	土地再評価 差 額 金	評価・換算 差額等合計	
前 期 末 残 高	26	1	3,204	3,177	8,414
当 期 変 動 額					
当 期 純 損 失					4,436
自己株式の取得					5
土地再評価差額金取崩額					51
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）	28	1	51	20	20
当 期 変 動 額 合 計	28	1	51	20	4,411
当 期 末 残 高	2	-	3,153	3,156	4,003

STOCK REPORT

株式の状況

1. 株式の総数・資本金

発行可能株式総数	150,000,000株
1単元の株式数	1,000株
発行済株式の総数	63,226,754株 (自己株式 307,792株を除く)
資本金	4,640,850,000円

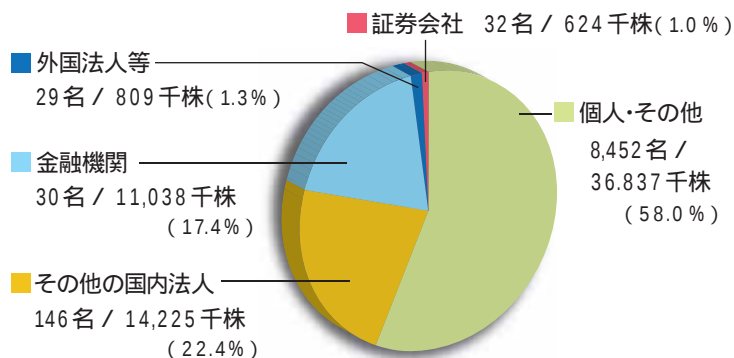
2. 大株主

ヤマハ発動機株式会社	6,457千株 (10.21%)
エンシュウ取引先持株会	5,075千株 (8.02%)
丸紅株式会社	3,612千株 (5.71%)
浜松ホトニクス株式会社	2,000千株 (3.16%)
株式会社みずほコーポレート銀行	1,572千株 (2.48%)
みずほ信託銀行株式会社	1,455千株 (2.30%)
株式会社りそな銀行	1,414千株 (2.23%)
株式会社損害保険ジャパン	1,363千株 (2.15%)
明治安田生命保険相互会社	1,197千株 (1.89%)
エンシュウ従業員持株会	752千株 (1.18%)

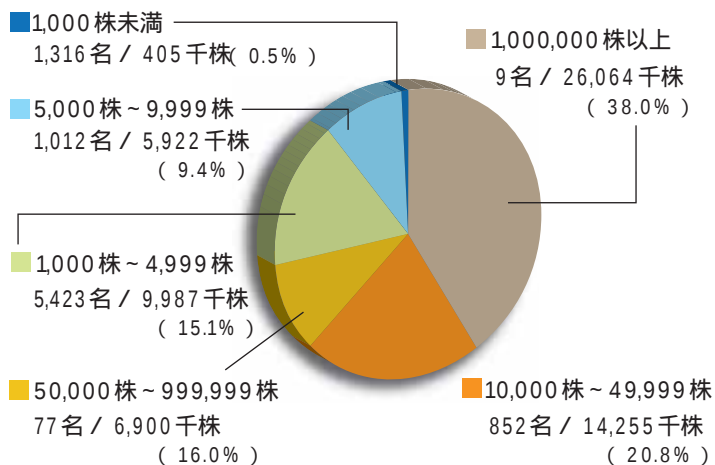
(注)比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

3. 株主の構成

所有者別株式分布状況 合計: 8,689名 / 63,534千株



所有株数別分布状況 合計: 8,689名 / 63,534千株



(注)株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

COMPANY PROFILE

会社の概況

商 号	エンシュウ株式会社 (英文 ENSHU Limited)
設 立	大正 9 年 2 月 5 日
資 本 金	46 億 4,085 万円
発行済株式総数	63,534,546 株
株 主 数	8,689 名
従 業 員 数	784 名 (連結)
生 産 品 目	工作機械、輸送機器関連部品 半導体レーザー加工機

事業所

本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町 4888 電話 053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅 788 電話 053-588-0211(代)

営業部・支店

営 業 部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅 788 電話 053-588-4771(代)

東 京 支 店 〒140-0011 東京都品川区東大井 4-13-15 (スターハイツ)
電話 03-5479-1671(代)

大 阪 支 店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-43 (ファサード江坂ビル)
電話 06-6338-2471(代)

サービスステーション / 高崎・金沢・広島・九州

海外拠点

ENSHU(USA) CORPORATION (シカゴ)

ENSHU GmbH (フランクフルト郊外)

ENSHU(Thailand) Limited (バンコク)

BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd (バンコク)

PT. ENSHU INDONESIA (ジャカルタ)

ENSHU Limited Beijing Office (中国)

ENSHU Limited Wuxi Representative Office (中国)

役員

(平成 22 年 6 月 29 日現在)

代表取締役社長 中 安 茂 夫

取 締 役 小 木 国 典

取 締 役 中 村 泰 之

取 締 役 中 村 和 夫

取 締 役 金 原 一 也

取 締 役 千 賀 伸 一

取 締 役 安 田 俊 二

常 勤 監 査 役 澤 木 達 治

監 査 役 石 塚 尚

監 査 役 菅 沼 幸 雄

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当の基準日
(期末配当) 3月31日
(中間配当) 9月30日

定時株主総会 毎年6月

なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿および実質株主名簿に記録された議決権を有する株主となります。

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 電子公告(<http://www.enshu.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の上場 東京証券取引所市場第一部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。 単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。	

単元未満株式(1～999株)を保有されている株主のみなさまへ

単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。

単元未満株式(1株から999株)を保有されている株主のみなさまからの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
にお問合せください。
0120・288・324(フリーダイヤル)

【ご注意】

証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引の証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになりますので、株主様のお取引の証券会社等にお問合せください。



ホームページのご案内

当社はインターネット上で最新の情報を皆様に提供しております。

ホームページアドレス <http://www.enshu.co.jp>

ENSHU
エنشウ株式会社